



四日市市立
港中学校だより

青葉旬う

令和5年5月8日
No.3 発行:校長

GW が終わって日常の生活が戻ってきました。今年は4年ぶりに行動制限がないGWだったため、各地でにぎわっている様子がテレビで放映されていました。4月は新しい環境のスタートだったため、慌ただしい毎日でお疲れ気味の方も多かったと思いますが、GWで一息つけたのではないのでしょうか。

家庭訪問期間終了 ～ご協力ありがとうございました～

先日は家庭訪問のためにお時間をいただきまして、ありがとうございました。

この年度当初の家庭訪問については、教職員がそれぞれの生徒をより深く理解するため大変重要な学校行事であると考えています。また、各ご家庭から貴重なご意見をいただく機会でもあります。しかし、教職員が多くのご家庭を回るため、十分な訪問時間がとれなかったところもあるかと思います。今回の家庭訪問に限らず、必要があれば、再度訪問いたしますし、学校へのお電話や来校していただいてのご相談も随時できますので、ご遠慮なくお知らせください。

生徒のみなさんへ

中間テスト発表 5月8日(月)

来週は中間テストです。1年生にとっては初めての定期テスト。テスト勉強するのは初めてだと思いますが、先生の話をよく聞いて、計画的にしっかりテスト勉強に取り組んでほしいと思います。



そして、3年生にとっては、卒業後の進路に向けた大切なテストです。もちろん、日ごろの小テストや授業での様子も重要ですが、定期テストの成績への影響は大きいと言えます。県立高校前期選抜、私立高校を受験する場合の調査書(内申書)は、3年生1, 2学期の成績が記入されます。希望する進路実現のためにがんばってください。

再び「わかること」と「できること」

去年の学校だよりで、いったん“わかった”と思っても、必ずしも“できる”とは限らないと書きました。それは、記憶を定着させるためには、教科書や参考書を何回も読んだり、ノートにまとめるだけではダメで、学んだこと(記憶したこと)を思い出す練習(問題を解くこと)が大切だということでした。自分なりに勉強方法を工夫し、自分の期待した点数がとれるようにテスト勉強頑張ってください。

例えば、英単語を何度も書いて覚えるよりも、単語を隠して答えるなど、記憶を引き出す練習が大切ということです。
また、他の人にわかったことを説明することも良いことです。



コロナの5類感染症への移行に係る対応について

5月2日に市教育委員会からホーム&スクールでお知らせがありましたが、5月8日に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行により、学校での対応は次の通りとなります。

(1) 健康管理について

- ① 発熱等がある場合は登校せず、自宅で休養する。
- ② マスクの着用は求めない。

生徒がコロナに感染した場合、出席停止解除後、発症から10日を経過するまでは、マスクの着用を推奨する。

(2) 登校の扱いについて

① 出席簿上の扱いについて

		期間等	出席簿上の扱い
1	生徒本人がコロナ陽性になった場合	発症日を0日として5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	出席停止
2	生徒に発熱等のかぜ症状がみられる場合		病 欠
3	コロナワクチン接種のために病院を受診する場合		事故欠
4	コロナワクチン接種後に、副反応症状が出ている場合		病 欠
5	感染が不安で欠席する場合		事故欠

- ② 同居家族に発熱等や体調不良者がある場合でも、登校を控える必要はありません。
- ③ 同居家族が陽性になった場合でも、生徒の感染が確認されない場合は、登校を控える必要はありません。(濃厚接触者の特定がされず、行動制限が行われないため。)

生徒のみなさんへ 熱中症について

マスクについて、4月から“学校での着用は求めない”となりましたが多くの人が今も着用しています。もちろん感染が心配で着用している人はいると思いますが、みんながしているから自分もするといった人も多いのではないのでしょうか。着用については個人の判断ですので他の人が意見することではありません。しかし、**心配するのは熱中症**です。

毎年、全国の学校で熱中症による事故が起きています。統計によれば学校での熱中症事故は**5月が一番多い**とのこと。暑さに身体が慣れていないうちに急に暑い日があるからだそうです。

熱中症は命にかかわる危険な症状です。死亡事故や脳に重大な障害が残る事故も起きています。マスクの着用が体温を必要以上に上昇させたり、高くなった体温の下降を妨げることがあります。特に登下校時、運動時や運動後のマスク着用についてはその必要性をよく考えてください。